

# ごんごの謎にせまる



ごんごの謎発見隊



オオーツ!! ついに「ごんかま淵」だ!!

## 2 吉井川の支流、皿川の「ごんかま淵」

いかにもカッパが出そうな怪しげなところ。何時間もねばって見たが、ついにごんごは現れず。そのうち天気も怪しげに。そんなにうまくいくわけねえヨナ。そりゃそうだ。



高橋照清さん

櫻井真三郎さん

津山にはたくさんのごんご伝説があるんです。それを継承・保存していこうと思って。

## 4 ちょっと、あれ見て!

ちょっと、あれ見て! ナアニ? 「ごんかまたこ焼き」だって

エーッ!!



おじさんの名前は船本正夫さん。なんと『ごんかま淵』のことを知ってもらいたくてたこ焼き屋をやりましたんだって!!

## 1 調査団結成

調査団を結成したものの、いったいどうやったらいいのかわからず途方に暮れていた。すると団員が「劇団 きんちやい座」のポスターを発見。そこには『ごんごの子守歌』という劇を演じていたことが、脚本家は山田美那子さん。この方ならきっと何か知っている。さっそく、みなごさんを訪ねると、「ごんごってのはネ…」って色々聞かせていただきました。なんでも佐良山の「ごんかま淵」こそが、ごんごのルーツの地だそう。とにかく行ってみよう。



山田美那子さん



みなごさんの友人、早瀬まゆみさんに絵巻物も見せていただきました。長大な絵巻物、全長、なんと120m!! ある日「ごしかけ石」を人間に奪われたごんごは人間に化けて「ごしかけ石」を発見。さあ、それからごんごは…



早瀬まゆみさん

## 3 町をとぼとぼ

がっかりしつつ町をトボトボ。ついに雨も降りだした。と、目の前に佐良山公民館。少し雨やどりでもするか、時間つぶしにこら辺の自治会だよりをパラパラと、、、な、な、なに!! 「ごんかま会」? おいおい「ごんかま会」ってのがあらしいぜ。ってわけで代表の高橋さん、副代表の櫻井さんと会うことに…へえッそうなんですスカア…ごんごには会えなかったけど、高橋さん、櫻井さんたちに会えたんで、ま、いかに。収穫、収穫。



## 5 「ごんかま」伝説

お店の横にはごんご伝説の立派な立て札まで。この立て札もおじさんが立てたんだ!! スゴイごんかま淵の底には穴があって、嵯峨淵とつながってるんだって。すごい情報だヨ!!



行けー!! 嵯峨淵!!

### カッパ豆知識

- 全国共通のカッパの特徴: ①頭に皿がある。②右手を引っ張ると左手が短くなり、左手を引っ張ると右手が短くなる。③すもうが強く、すくにすもうをとりたがる。
- ④きゅうりが大好き。
- 河童連邦共和国 応援サイト <http://kappauv.com/sub3/sub302.html> 毎年河童サミットが開催されています。



対岸の岩には、かつて津山の繁栄を支えた高瀬舟を曳き上げた網の跡が今も何本も刻み込まれている

## 10 ごんご出現地押淵の流れ

そんな思いを胸に、最後に訪れた、ここもごんごの出現地といわれる押淵。川の流れを見ていると、いつもの吉井川とは違って見えた。川が、そしてごんごが私たちに何か話かけているような気がした。ごんご…いるよ、きっと…。



スッポン釣りは保護色の服装で、背後からそっと近づいて行き、おしりにさっとひっかける。梅田さんの名人芸!

## 吉井川のスッポン コラーゲンで女子にも人気

岡山市内の高級料亭へ年間約400匹出荷されます。スッポンは、高級料理、とっても美味。滋養強壮・精力たっぷりでおじさん食品の代表みたいなスッポンだが、最近は、コラーゲンで女子にも大人気。



ごんかま淵とトンネルでつながっていた嵯峨淵

## 6 嵯峨淵に到着

ごんごは現れるか? ああ一つ、ごんごに会いたーイ!! とそこに現れたのは…



工用日下の新商品!

たこやき屋さんのお隣にはこれまたユニークなクリーニング店が、店主の山下美千枝さんは、ごんごのルーツといわれる、ごんかま淵のある佐良山のまちおこしグループのメンバーだった。で、当然ごんごにも詳しい。昔、ごんかま淵の岩では、ごんごたちが子ども達と一緒に遊んでいたんだって。でも岩が削れ子ども達も川で遊ばなくなってしまったそうだよ。

## 9 川とともに生きる町津山

結局ごんごって何なんだろう? 川と共に生きる文化のあるところに、全国のかっぱ伝説もあるのだろうか。ごんご通りに、舟を引いたり、釣りをしたりしてごんごのブロンズ像があるけど、ごんごは川とともに生きる町津山のシンボルだったんだネ。きっとそうだヨ。そういえばごんご祭りのテーマも「よみがえれ川の魂」だったネ。



そうか、やっと何かわかってきた!



釣りをするごんご



船頭をするごんご



高瀬舟を曳くごんご

ごんご通りのブロンズ像

## 8 最後の專業川魚漁師

名人は365日川で暮らす。名人の誇りである川が汚れて、生態系も変わってしまった。子ども達も川で遊ばなくなってしまった。



昔は養蚕(みのかき)姿で夜が明ける前から川に出とったし、たぶんカッパに見まがわれとったかも。

津山盆地の者は、代々ずうっと、吉井川と共に生きてきたんじゃ。それがすっかり、川離れしてしまっ…

昭和の終わりごろまでは、20人近い專業の漁師がおって、みんな競い合って腕をみがいていたもんじゃけど。もちろん場所もやり方もみんな秘密。今だったら、誰にでも教えますよ。川魚漁の歴史と技術を伝えるために。



梅田郁男さん

## 7 スッポンとり名人

スッポンとり名人の梅田さん。今や、津山でただ一人の專業川魚漁師である。NHK「吉井川物語」にも登場した、知る人ぞ知る、吉井川の有名人!!

### ごんごの好物 キゅうりについて

きゅうりは、もともと「黄瓜」きゅうりだったそう。今私たちが食べてる大ききで採らず、そのままにすると、どんどん大きくなって黄色くなります。昔はこの黄色いのを夏の土用に食べたかというけれど、そこには陰陽五行の深い意味があるらしい。



鏡野町 ☆型♡型のきゅうり

♡型のきゅうりはLove 注入効果もあるかも。☆型で運勢アップ効果も期待



きゅうりバックって知ってますか? 美容にもいいって聞いたのでやってみました。注) 皮膚の弱い人にはオススメできません。